

【様式1】

団体名 <b>沖縄県立南部農林高等学校</b>	連絡先 TEL : <b>098-850-6006</b> Eメール : xx330434@pref.okinawa.lg.jp
----------------------------	--

1 実践事項 ( ① )

本校は令和4年度から令和6年度まで、専門高校地域連携推進事業の研究指定を受け、生徒が本校で学ぶ3年間で将来目指す自分像、なりたい自分像を見つけ、主体的にキャリアプランニングできる力を身に付け、地域を支える人材として成長できるシステムづくりを研究している。事業名も生徒が理解しやすく、親しみやすい名称「南農未来探究プロジェクト」とした。

**タイトル：『南農未来探究プロジェクト』の取り組みについて**

2 実践内容

**【1学年】**

1学年では、探究学習を通じ、過去の自分、現在の自分、将来の自分を理解し、なりたい自分を探究し、将来の自分への道筋を見つけられるように深く学ぶ力(探究する力)の育成を目標とした。

**【2学年】**

2学年では、インターンシップを通じ、事前・事後学習の中で「職業観」「勤労観」「協働性」「協調性」などの社会に出るための素養を身につけ、働くことの意義、楽しさ、やりがいを醸成することを目標とした。

**【3学年】**

3学年では、「南農版デュアルシステム」を通じ、地域の農家や企業、もしくは、大学や研究機関と連携し、みとおす力、ふりかえる力、やりぬく力を育成し、計画的に将来の進路を考え、なりたい自分へのプランニング力を身につけることを目標とした。

### 3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



1 学年

探究学習のアンケート  
約7割が将来を考えていると回答

2 学年

インターンシップ事前学習  
(外部講師によるマナー講習会)

3 学年

南農版デュアルシステムイメージ図

### 4 成果

- ① 指定研究2年目で各学年での目標や取り組みの道筋が見えてきた。
- ② 生徒の明確な変容は見えていないが、事前・事後アンケートから将来の職業について、考えるようになってきていることがわかった。

### 5 課題

- ① 研究指定期間終了後、自走期間へ移行するための校内体制づくりが最優先課題である。
- ② 地域と継続的につながり、生徒を「社会で役立つ担い手」として育成していくために、プラットフォームの設立と組織作りが急務である。
- ③ 学校ランドデザインや育成したい資質・能力との繋がりへの検証が必要である。